

新潟勤労者総合福祉センター（新潟テルサ）

平成21年度事業報告

1 概要

当財団は、約17年間に渡り新潟勤労者総合福祉センター（新潟テルサ）の管理運営及び施設を活用した事業を実施することで勤労者福祉の増進に努めてまいりましたが、他財団への事業継承、民間活力導入等の整理を終え、今年度末を持って解散となった。

今後は、昨年度行われた当施設に係る新潟市の指定管理者公募に共同事業体として応募し指定を受けた、財団法人新潟市開発公社及び愛宕商事株式会社により事業を実施して行くこととなった。

また、当施設の周辺では、平成19年11月の新潟市民病院の開院、また、昨年6月の県立野球場のオープンと鳥屋野潟南部の環境が大きく変貌してきている。

これらにより公共交通機関も整備され当施設へのアクセスにも一層幅が広がってきている。

【施設利用状況】

貸館の利用状況について、ホールは162件の利用があり、前年度に比べ件数で9件の減少、稼働率で3.3%の減少となった。

会議室は、3,241件の利用があり、中小企業の社会経済情勢が前年度以上に低迷している影響を受け、前年度に比べ件数で15件減少したが、稼働率では1.3%の増加となった。

利用者数については、ホール、会議室合わせて226,755人の利用となり、昨年度より9.9%減少した。

健康クラブについては今年度より当財団が運営を開始し、利用者数は114,811人、前年度比で10.3%の減少となった。

業務委託施設について、レストランの利用者数は30,469人、前年度比9.4%の減少となった。

【施設運営事業】

施設利用者に対しては、迅速でより精度の高い受付精算サービスの提供に努めた。

また、1階ロビーに電子案内表示板を設置し、施設利用者の利便性を図った。

ホール利用件数については、前年度と比べ9件の減少、利用料収入は前年度比15.8%の減少となった。

また、会議室の利用件数については、前年度比0.5%減、件数にして15件の減少、利用料収入は前年度比0.5%増加となった。

ホール、会議室全体での利用料収入は、前年度比で8.1%の減少となった。

【健康体力増進事業】

健康クラブについては、経営者の撤退に伴い、4月からは当財団が自主事業として運営を開始したところであるが、今年度はサウナ室の改修工事を行うことで利用者の

利便性を図った。

また、既存のトレーニングマシンの入れ替えや新機種の導入を行った。

【飲食等のサービス提供に関する事業】

レストランをPRするため会議室利用者へサービス券付きのチラシ配付を行った。
また、前年度に引続き、テルサ催物案内の掲載、ホームページ等広告宣伝活動を継続した。

【広報活動に関する事業】

共同事業体構成員である民間企業による当施設の利用促進活動、路線バスの車内アナウンス等を活用した広報に努めた。

2 施設運営事業

	利 用 件 数		利 用 者 数	
	件 数	前年度比	人 数	前年度比
ホール	162件	94.7%	129,711人	88.2%
会議室	3,241件	99.5%	97,044人	92.7%

3 健康クラブ運営事業

	利 用 者 数	
	人 数	前年度比
健康クラブ	114,811人	89.7%

4 委託事業

	利 用 者 数	
	人 数	前年度比
レストラン	30,469人	90.6%